

予算常任委員会報告

3月7日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託された「令和6年度の能勢町一般会計補正予算(第7号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。討論はなく、採決の結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

問 ふるさと応援寄附金3500万円の減額の要因と今後の対応を問う。

答 人気商品のワッフルの種類が変更になったことが影響している。返礼品は、町内商品に限定されているので復活は難しい。引き続き新規事業者の開拓や、返礼品の追加などに取り組む。また、寄附者へはお礼状やチラシで周知を図っていく。

問 保健体育総務費のスポーツ大会負担金51万円が減額になった理由を問う。

答 スポーツ大会の負担金を用意していたが、今年、グランドゴルフ大会を実施することになり、その費用を体育連盟の繰越金でまかなったことにより、負担金は減額となった。

問 財政調整基金の繰入金が1億5000万円の減額になった要因は何か。

答 水道企業団への累積赤字分で、その相当額を財政調整基金から繰り入れて、財源の措置をしてきた。その歳出の負担金が減額になるので、繰入金も減額処理をした。

問 水道事業費の大阪広域水道企業団負担金1億5500万円の減額について、経過も含めた説明を求める。

答 負担金の一つである高料金対策に対する経費は交付税対象となっているが、交付税の制度が変わったことから、企業団と協議し、本町の財政への影響を踏まえ、負担金の累積赤字分については企業団の方で負担することになり減額を行った。

問 集落支援業務委託料の減額について、また集落支援員の1年間の成果を踏まえた今後の活動について問う。

答 集落支援員の業務としては、移住関係の取組みと、能勢栗振興の2つの活動をしている。活動経費を年間165万4000円見積っていたが、100万円減額になった。成果を取りまとめているが、1年間の予定で雇用していたので、次年度は雇用する予定はない。

議会改革特別委員会報告

2月20日 開催

委員長 森田 則子

第12回 議会改革特別委員会

「議会基本条例の検証について」を議題とし、令和5年10月24日開催の委員会で意見交換した「議員間討議」について、第2作業部会からその後の調査研究等の報告を受けた。

これまで、議会基本条例の検証から取り組むべき課題解決に向けて、3つの作業部会を設け、真摯な議論を積み重ね、調査・研究を行ってきた。

第1作業部会では、議員定数及び議員報酬などについて

第2作業部会では、住民との意見交換、議員間討議について

第3作業部会では、議会のICT化について

その結果、議会のあり方、課題等が明確になり、今後の道筋を確認した。

まずは、試行的に3月定例会議の予算常任委員会の一般会計審議終了後、採決の前に議員間討議の場を設け、意見の共有を行うこととした。今回で今期最後の議会改革特別委員会となるため、作業部会ごとに総括的に取りまとめた報告書の提出をもって審議を終了する。